

平成21年度

# 自主検査報告書

平成22年1月

兵庫県コンクリート製品協同組合  
(旧ロングU協会 兵庫支部)  
技術委員長 藤本行成

はじめに

本報告書は、兵庫県コンクリート製品協同組合が行った平成21年度の自主検査報告書です。ロングU協会の認定を受けた8社7工場について、平成21年10月から12月にかけて、立入検査を行った結果の報告書です。なお、下記項目の工程検査も実施していますので、報告致します。

目的

本検査は、協会認定商品の品質を調査するとともに、品質の向上を目的として実施するものである。

検査内容

検査は、ロングU協会規格書、補足書及び品質管理監査基準に準拠して行い、内容は下記に示すとおりとした。

製品検査

- ①外観検査
- ②形状・寸法検査
- ③圧縮試験
- ④曲げ試験
- ⑤配筋・かぶり厚さ検査
- ⑥表示

工場検査

- ①脱型検査(外観、形状)
- ②コンクリートの中の塩化物含有量
- ③スランプ試験
- ④コンクリート圧縮試験

調査対象工場名及び調査対象品目

調査工場	調査対象品目
〈1〉関西ポラコン(株)	本社工場 プレキャストU型側溝／蓋／プレキャストL型側溝
〈2〉ケイコン(株)	山陽工場 プレキャストU型側溝／プレキャストL型側溝
〈3〉(株)シミズ	製品工場 プレキャストU型側溝／蓋／プレキャストL型側溝
〈4〉大和クレス	兵庫工場 プレキャストU型側溝／プレキャストL型側溝
〈5〉東播商事(株)	本社工場 プレキャストU型側溝／プレキャストL型側溝
〈6〉日本興業(株)	
〈7〉阪神工業(株)	小野工場 プレキャストU型側溝／蓋／プレキャストL型側溝
〈8〉(株)ホクコン	和田山工場 プレキャストU型側溝

平成22年1月20日

兵庫県コンクリート製品協同組合  
技術委員会

平成21年度 自主検査の検査結果については、以下の通りでしたので報告いたします。  
記

1) 概況

平成21年度自主検査実績は下表のとおり。

プレキャストU形側溝（ロングU）

社名	工場名	実施日
関西ポラコン（株）	本社	H21.12.22
ケイコン（株）	山陽	H21.12.9
（株）シミズ	製品	H21.11.10
大和クレス（株）	兵庫	H21.12.7
東播商事（株）	本社	H21.10.20
阪神工業（株）	小野	H21.11.27
（株）ホクコン	和田山	H21.11.10

プレキャストL形側溝（エプロン）

社名	工場名	実施日
関西ポラコン（株）	本社	H21.12.22
ケイコン（株）	山陽	H21.12.9
（株）シミズ	製品	H21.11.10
大和クレス（株）	兵庫	H21.12.7
東播商事（株）	本社	H21.10.20
阪神工業（株）	小野	H21.11.27
（株）ホクコン	和田山	生産タ

2) 検査結果

該当工場7工場の検査総数は16件でした。

検査結果を、縦覧した結果16件については、規定の品質水準が維持管理されておりました。

以上

この表は、組合社製品の品質水準を自主検査結果により評価したものである。  
評価方法は減点法を用いて別紙基準により算定したものである。  
なお、検査はサンプリングによる代表試料について行ったものである。

プレキャストU形側溝 (ロングU)

社名	工場名	実施日	評 点				評価
			材料管理	工程検査	製品検査	合計	
関西ポラコン(株)	本 社	H21.12.22	20	45	30	95	優
ケイコン(株)	山 陽	H21.12.9	20	46	30	96	優
(株)シミズ	製 品	H21.11.10	20	50	30	100	優
大和クレス(株)	兵 庫	H21.12.7	20	50	30	100	優
東播商事(株)	本 社	H21.10.20	20	50	30	100	優
阪神工業(株)	小 野	H21.11.27	20	49	30	99	優
(株)ホクコン	和田山	H21.10.10	20	46	30	96	優

プレキャストL形側溝 (エプロン)

社名	工場名	実施日	評 点				評価
			材料管理	工程検査	製品検査	合計	
関西ポラコン(株)	本 社	H21.12.22	20	46	30	96	優
ケイコン(株)	山 陽	H21.12.9	20	49	30	99	優
(株)シミズ	製 品	H21.11.10	20	50	30	100	優
大和クレス(株)	兵 庫	H21.12.7	20	50	30	100	優
東播商事(株)	本 社	H21.10.20	20	50	30	100	優
阪神工業(株)	小 野	H21.11.27	20	50	30	100	優

## 【評点計算方法】

技術委員会

表. 1 評点計算基準表（蓋は除く）

管理項目	配点	検査項目	減点	減点基準
材料管理 (U形、L形 共通事項)	(20点)	塩化物量	(-5点)	0.30kg/m <sup>3</sup> 越えている。
		スランプ	(-5点)	社内基準の範囲を越えている。
		圧縮強度	(-10点)	3本の平均が規格値を下回っている。
				3ヶ月平均から標準偏差の3倍を越えている。
工程検査 (各1本)	10点× 5本=50点	ひび割れ	(-10点)	ひび割れ有り。
		鉄筋露出	(-10点)	鉄筋露出有り。
		ねじれ	(-5点)	2mmねじれている。(規格限度)
			(-10点)	2mmを越えてねじれている。(規格外れ)
		そり	(-5点)	4mm反っている。(規格限度)
			(-10点)	4mmを越えて反りがある。(規格外れ)
		ヘアークラック	(-1点)	1ヶ所あり。
			(-2点)	2ヶ所以上あり。
		欠損	(-1点)	1ヶ所あり。
			(-2点)	2ヶ所以上あり。
		気泡(5~15mm)	(-1点)	15mm未満5個以上あり。
			(-2点)	15mm未満10個以上あり。
		気泡(15mm以上)	(-2点)	15mm以上1個以上あり。
		へ-スト漏れ	(-1点)	1ヶ所あり。
(-2点)	2ヶ所以上あり。			
製品検査	(30点)	全項目共通	(-10点)	測定値が規格値の上限値もしくは下限値である。
			(-30点)	測定値が規格値を外れている項目がある。
計	(100点)			

## 【評価方法】

1. 管理項目ごとに検査記録の測定値を確認し、減点対象があれば配点より減点する。
2. 減点後の得点を合計し、下表の範囲より評価レベルを決定する。
3. 評価レベルが、可および不可の場合、技術委員長に特記事項として報告する。

表. 2 評価基準表

	基準点	評価レベル
減点後の 得点	90~100点	優
	80~89点	良
	70~79点	可
	70点未満	不可